

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2018年12月21日まで（2014年6月27日設定）
運用方針	米ドル建てのハイイールド債券等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。 主として信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行います。ただし、償還が信託期間を超える銘柄にも一部投資を行うことがあります。組入債券の格付けは、原則として取得時においてBB+格相当以下B-格相当以上の銘柄とします。ただし、信託期間内に組入債券が償還した場合等には、投資適格社債および米国債に再投資することがあります。そのため、米ドル建てのハイイールド債券の組入比率が低下することがあります。 債券等の運用にあたっては、プリンシパル・グローバル・インベスターズ・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。
主要運用対象	米ドル建てのハイイールド債券等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 米国ハイイールド 債券ファンド2014-06 （為替ヘッジあり）（限定追加型）

第3期（決算日：2017年12月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 米国ハイイールド債券ファンド2014-06（為替ヘッジあり）（限定追加型）」は、去る12月22日に第3期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税金	騰落	騰落率			
(設定日) 2014年6月27日	円 10,000	円	—	% —	% —	百万円 6,441	
1期(2015年12月22日)	9,281	0	△7.2	93.8	—	5,544	
2期(2016年12月22日)	10,051	0	8.3	96.2	—	4,641	
3期(2017年12月22日)	10,277	0	2.2	94.5	—	3,097	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、米ドル建てのハイイールド債券等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額			債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰落	騰落率	騰落率			
(期首) 2016年12月22日	円 10,051	—	% —	% 96.2	—	—	
12月末	10,094	0.4	94.8	—	—	—	
2017年1月末	10,146	0.9	92.8	—	—	—	
2月末	10,219	1.7	92.8	—	—	—	
3月末	10,177	1.3	92.7	—	—	—	
4月末	10,218	1.7	95.3	—	—	—	
5月末	10,264	2.1	93.7	—	—	—	
6月末	10,266	2.1	95.4	—	—	—	
7月末	10,291	2.4	91.4	—	—	—	
8月末	10,292	2.4	89.9	—	—	—	
9月末	10,299	2.5	93.5	—	—	—	
10月末	10,293	2.4	92.1	—	—	—	
11月末	10,285	2.3	88.7	—	—	—	
(期末) 2017年12月22日	10,277	2.2	94.5	—	—	—	

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第3期：2016/12/23～2017/12/22)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.2%の上昇となりました。



第3期首：10,051円
 第3期末：10,277円
 (既払分配金 0円)
 騰落率：2.2%

基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国ハイイールド債券市況が上昇したことや、債券利子収入を享受したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第3期：2016/12/23～2017/12/22）

◎債券市況

- ・米国ハイイールド債券市況（ブルームバーグ・バークレイズ米国ハイイールド社債指数を参照しています）は期首に比べ上昇しました。
- ・米国長期金利は、米国の段階的な利上げ等が金利の上昇要因となった一方、北朝鮮を巡る地政学的リスクの高まり等が金利の低下要因となり、期首に比べるとほぼ横ばいとなりました。このような環境下、堅調な米国経済を背景とした米企業の業績拡大や財務改善見通し等を受け、米国ハイイールド債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したこと等から、米国ハイイールド債券市況は堅調に推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・当ファンドは、米ドル建てのハイイールド債券等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざすと共に、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。高水準の為替ヘッジを行ったため、円・米ドル為替市況の変動が基準価額に与える影響は限定的となりました。銘柄選定にあたっては、信用リスクに配慮しつつ発行体のファンダメンタルズに照らして相対的にクレジット・スプレッドが厚く、投資妙味があると見られる債券を中心に投資しました。また、主に信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、原則として償還まで保有するバイ・アンド・ホールド戦略を採用した運用を行いました。
- ・当期は、米国ハイイールド債券市況が上昇したことや、債券利子収入を享受したこと等がプラスとなり、基準価額は期首に比べ上昇しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

期首（2016年12月22日）

期末（2017年12月22日）

最終利回り	5.0%	→	最終利回り	2.6%
直接利回り	5.8%		直接利回り	5.2%
デュレーション	1.6年		デュレーション	0.9年

- ・最終利回りは、原則として個別債券等における満期利回り（個別債券を償還日まで保有した場合の複利利回り）と、コール利回り（個別債券におけるコール（早期償還）日に早期償還されると仮定した場合の複利利回り）のうち、最も利回りが低いものを採用し、それらを加重平均したものです。
- ・直接利回りは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、原則として上記最終利回りを算出する際の償還日を用いて算出しています。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

下記は、プリンシパル・グローバル・インベスターズ・エルエルシー（プリンシパル社）提供の資料に基づき作成した運用状況です。

（ご参考）

種別構成

2016年11月末

ハイイールド債券	91.83%
その他債券	8.17%

2017年11月末

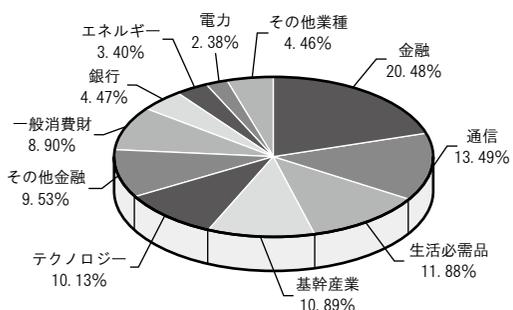
ハイイールド債券	71.69%
その他債券	28.31%

- ・比率は現物債券評価額に対する割合です。
- ・種別構成は、プリンシパル社が独自に分類したものです。
- ・その他債券は、投資適格社債や米国債等の債券です。

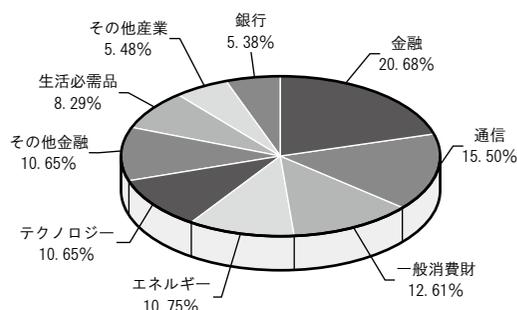
（ご参考）

業種別組入比率

2016年11月末



2017年11月末



- ・比率は現物債券評価額に対する割合です。
- ・業種は、債券の発行体企業について分類したものです。
- ・業種はブルームバーグ・バークレイズ・インデックスの業種区分に基づいておりますが、一部プリンシパル社の判断に基づき分類したものが含まれます。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、米ドル建てのハイイールド債券等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第3期
	2016年12月23日～2017年12月22日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,615

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ 今後米連邦準備制度理事会（FRB）による追加利上げ等により、一時的に米国ハイイールド債券市況の変動性が高まる局面も想定されますが、全般的に堅調なファンダメンタルズを背景に、米国ハイイールド債券市況は底堅く推移すると予想します。

◎今後の運用方針

- ・ 引き続き、主に信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、原則として償還まで保有する現状のバイ・アンド・ホールド戦略を基本とし、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図り、安定的な利子収益の確保をめざす方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2016年12月23日～2017年12月22日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 161	% 1.576	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× （期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	（ 91 ）	（ 0.890 ）	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 66 ）	（ 0.643 ）	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 4 ）	（ 0.043 ）	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.018	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 1 ）	（ 0.014 ）	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.004 ）	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.000 ）	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	163	1.594	
期中の平均基準価額は、10,237円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2016年12月23日～2017年12月22日）

公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 4,085	千アメリカドル 9,264 (7,040)

（注）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

（注）（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

（注）社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2016年12月23日～2017年12月22日）

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	47,319	17,187	36.3	45,898	16,769	36.5
為替直物取引	—	—	—	1,584	426	26.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

（2017年12月22日現在）

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 25,127	千アメリカドル 25,809	千円 2,927,062	% 94.5	% 69.1	% —	% —	% 94.5
合計	25,127	25,809	2,927,062	94.5	69.1	—	—	94.5

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利 率	当 期 末		償還年月日	
			額面金額	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	普通社債券					
	3.5 ALLY FINAN 190127	3.5	1,325	1,333	151,207	2019/1/27
	3.75 HCA INC 190315	3.75	1,331	1,347	152,865	2019/3/15
	3.875 CIT GROUP 190219	3.875	1,317	1,336	151,601	2019/2/19
	4.125 JAGUAR LAND 181215	4.125	700	713	80,875	2018/12/15
	4.375 SANMINA COR 190601	4.375	1,300	1,335	151,413	2019/6/1
	4.625 AIRCASTLE L 181215	4.625	1,300	1,326	150,381	2018/12/15
	4.75 KB HOME 190515	4.75	1,150	1,174	133,192	2019/5/15
	4.875 ICAHN ENTER 190315	4.875	1,340	1,342	152,273	2018/1/15
	4.875 Navient Cor 190617	4.875	1,225	1,249	141,705	2019/6/17
	5 WHITING PETROLE 190315	5.0	1,270	1,303	147,883	2019/3/15
	5.25 PHI INC 190315	5.25	900	895	101,558	2019/3/15
	5.5 SLM CORP 190115	5.5	40	40	4,632	2019/1/15
	5.625 ANIXTER INC 190501	5.625	1,245	1,283	145,607	2019/5/1
	5.65 DELL INC 180415	5.65	1,230	1,242	140,855	2018/4/15
	5.875 DELL INC 190615	5.875	65	67	7,697	2019/6/15
	6.25 INTL LEASE 190515	6.25	1,120	1,175	133,361	2019/5/15
	6.5 EH HOLDING CO 190615	6.5	1,034	1,084	122,982	2019/6/15
	6.5 FRESENIUS MED 180915	6.5	700	720	81,741	2018/9/15
	6.9 SPRINT CAPITA 190501	6.9	1,225	1,286	145,873	2019/5/1
	7 RIALTO HLDS LLC 181201	7.0	1,275	1,282	145,501	2018/12/1
	7.75 CABLEVISION 180415	7.75	560	568	64,462	2018/4/15
	8.5 L BRANDS INC 190615	8.5	1,150	1,252	141,996	2019/6/15
	8.625 CSC HOLDING 190215	8.625	665	704	79,942	2019/2/15
	8.625 MGM RESORTS 190201	8.625	1,160	1,239	140,600	2019/2/1
	9.5 SEITEL INC 190415	9.5	500	501	56,846	2019/4/15
合 計					2,927,062	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年12月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,927,062	93.1
コール・ローン等、その他	217,996	6.9
投資信託財産総額	3,145,058	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（3,067,876千円）の投資信託財産総額（3,145,058千円）に対する比率は97.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.41円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年12月22日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,153,040,781
コール・ローン等	189,885,552
公社債（評価額）	2,927,062,271
未収入金	3,007,982,600
未収利息	27,296,452
前払費用	813,906
(B) 負債	3,056,027,363
未払金	3,026,968,000
未払解約金	1,000,292
未払信託報酬	27,990,466
未払利息	119
その他未払費用	68,486
(C) 純資産総額（A－B）	3,097,013,418
元本	3,013,514,488
次期繰越損益金	83,498,930
(D) 受益権総口数	3,013,514,488口
1万口当たり基準価額（C/D）	10,277円

<注記事項>

- ①期首元本額 4,618,139,406円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 1,604,624,918円
 また、1口当たり純資産額は、期末10,277円です。

②分配金の計算過程

項 目	2016年12月23日～ 2017年12月22日
費用控除後の配当等収益額	117,495,617円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	747円
分配準備積立金額	369,268,090円
当ファンドの分配対象収益額	486,764,454円
1万口当たり収益分配対象額	1,615円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ③信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の37以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○損益の状況（2016年12月23日～2017年12月22日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	181,078,587
受取利息	180,678,363
その他収益金	418,453
支払利息	△ 18,229
(B) 有価証券売買損益	△ 49,447,936
売買益	755,486,044
売買損	△804,933,980
(C) 信託報酬等	△ 63,582,970
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	68,047,681
(E) 前期繰越損益金	15,402,198
(F) 追加信託差損益金	49,051
（配当等相当額）	（ 747）
（売買損益相当額）	（ 48,304）
(G) 計（D＋E＋F）	83,498,930
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金（G＋H）	83,498,930
追加信託差損益金	49,051
（配当等相当額）	（ 747）
（売買損益相当額）	（ 48,304）
分配準備積立金	486,763,707
繰越損益金	△403,313,828

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。